

【令和7年度 厚生労働省事業】

全世代向け歯科健康診査等実施事業 成果報告

～福岡市薬剤師会における口腔チェックの取組み～

2026年3月10日

一般社団法人 福岡市薬剤師会

常務理事 清水 敦

健康と医薬品の専門家として
医療・保健・福祉の向上に貢献します

創業 : 1948年発足

所在地 : 福岡県福岡市

会員薬局 : 薬局728軒、薬剤師1,311名 (2025年12月31日現在)

事業内容 : フレイル・ロコモ予防相談事業 / 薬物乱用防止事業 / 災害対策事業
救急医療事業 / 薬剤師育成事業 / 国際活動事業

福岡市薬剤師会で行った啓発活動（歯科医師会コラボ）

福岡県では2013年に「福岡県歯科口腔保健の推進に関する条例」が制定され、1月8日の「いいは」の日を含む1月7日から13日を「福岡県歯科口腔保健啓発週間」と定めております。

例年11月に福岡市歯科検診啓発事業を実施。歯科医師による薬剤師向けの研修会を開催。歯科医師会健康イベントに薬剤師会ブースを設置し、歯に関わる健康啓発を実施

2016年～ 健康応援薬局事業、歯科検診啓発月間（歯科研修会開催）

歯科医師会主催「福岡市民の健康を歯と口から守る集い」参加

2025年11月 福岡市歯科医師会主催「デンタルフェア」inららぽーと福岡



モデル事業実施の流れ

実施概要

- 対象 : 薬局に来局しトライアルに協力していただける方
(1 薬局1~10名を想定)
- 期間 : 検査キット到着後~11月30日(日)
※結果報告期限: 12月5日(金)まで
- 実施場所 : 福岡市薬剤師会会員薬局でご協力いただける薬局
- 実施項目 : ①事前アンケート ②検体採取 ③事後アンケート



モデル事業実施の流れ

スケジュール

4月 福岡市歯科医師会から福岡市薬剤師会と行政へモデル事業意向確認
協議以降、歯科医師会・行政と適宜連携

9月下旬 会員薬局向け説明会実施
歯科医師会専務理事による講演会

10月上旬 各薬局に資材提供
資材内容については歯科医師会・行政確認後提供

～11月末 検査実施

12月中旬 事後アンケート回収

12月下旬 参加店舗登録票入力締切



モデル事業実施の流れ

実施フロー

STEP1

STEP2

STEP3

STEP4

STEP5

STEP6

モデル事業

保険診療

参加申込



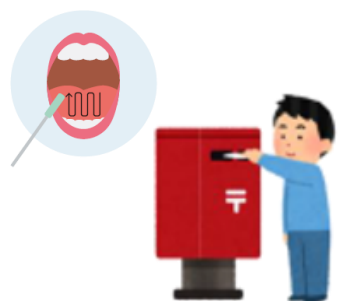
対象者：
・かかりつけの患者
・慢性疾患の患者
(1か月に1回受診)

事前アンケート 検体採取



配布内容：
・検体採取キット
・返信用封筒
・事前アンケート

検体採取 郵送



・返信用封筒で発送
・事前アンケート同封

結果の送付



送付先：自宅
送付内容：結果・
啓発パンフ

事後アンケート 受診勧奨



・**歯科への情報提供書**
・事後アンケート (web)
来局時または電話確認

歯科受診



紹介先：
・紹介先リスト
・かかりつけ歯科

赤枠が薬局で実施した工程です

モデル事業実施の流れ

歯科医師会との連携

『薬局からの紹介を歯科側がどう受け止めるか』

事務局同士の事前調整で払拭

事前準備 : 薬剤師向け研修会の共同開催

会員歯科医院へ周知

実施期間中 : 定期的な進捗共有

受診勧奨後の「受け入れ歯科医院」の最新リストの更新

事後評価 : 実施薬局と受診先歯科医院のデータの突合

課題の早期抽出

【ご協力をお願い】

厚生労働省「全世代向けモデル歯科健康診査等実施事業」
(薬局等を通じた受診勧奨事業)

歯周病リスク検査モデル事業のお知らせ

このたび、「国民皆歯科健診」の実現へ向けて、福岡市では全国に先駆けて福岡市薬剤師会と共同で歯周病スクリーニング検査のモデル事業を行うこととなりました。
この事業の概要は以下のとおりです。

- ① 慢性疾患を有し毎月薬局を訪れる患者を対象に、薬局で歯周病スクリーニング検査のキット（アドチェック）を渡します。
- ② 被験者は自宅で検体を採取し、検査センターに郵送します。
- ③ 検査の結果が被験者に郵送されます。
- ④ その結果を被験者が薬局に持参するか、薬局が電話で確認し、歯科受診の勧奨を行います。
- ⑤ 薬局から受け取った診療情報提供書※を持って、被験者が歯科医院を受診します。
- ⑥ 歯科医院はこの事業によって受診した患者の数を福岡市歯科医師会に報告していただきます。（ご報告はメールまたはGoogleフォームからお願いします）

特に事前登録や研修会の受講は必要ありません。受診された患者に対して通常の歯周組織検査と必要な処置を行っていただくことになります。（通常の保険診療扱い）

この事業の目的は薬局を通じた簡易スクリーニング検査と受診勧奨の結果、どのくらい実際の歯科受診へとつながったかを検証することですので、被験者が受診した場合は、必ず本会事務局までご報告をお願いいたします。

ぜひともご協力いただきますよう、お願い申し上げます。

※診療情報提供書

紹介状（情報提供書）
作成日： 年 月 日

先生、拝啓

平素より大変お世話になっております。
下記のようにお薬の口添えや処置についてご相談をいただいております。
ご高診の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

患者（患者）氏名	薬局、訪問先薬局 名称 〒 市 区 〒 市 区
（氏・名） 年 月 日	性別 〒 市 区 〒 市 区
検査目的	口腔チェック料戻し（A・B・C） ※利益返還 人口調査の補助費等の返還が目的ではなく、 本事業実施の推進が目的です。ご報告は必ずおこなってください。
検査結果	

お問い合わせアドレス: kyokai@fukuoka-dentists.or.jp



第1位
歯周病リスク検査で無料
お口の健康チェックしていませんか？

対象者：18歳以上の方

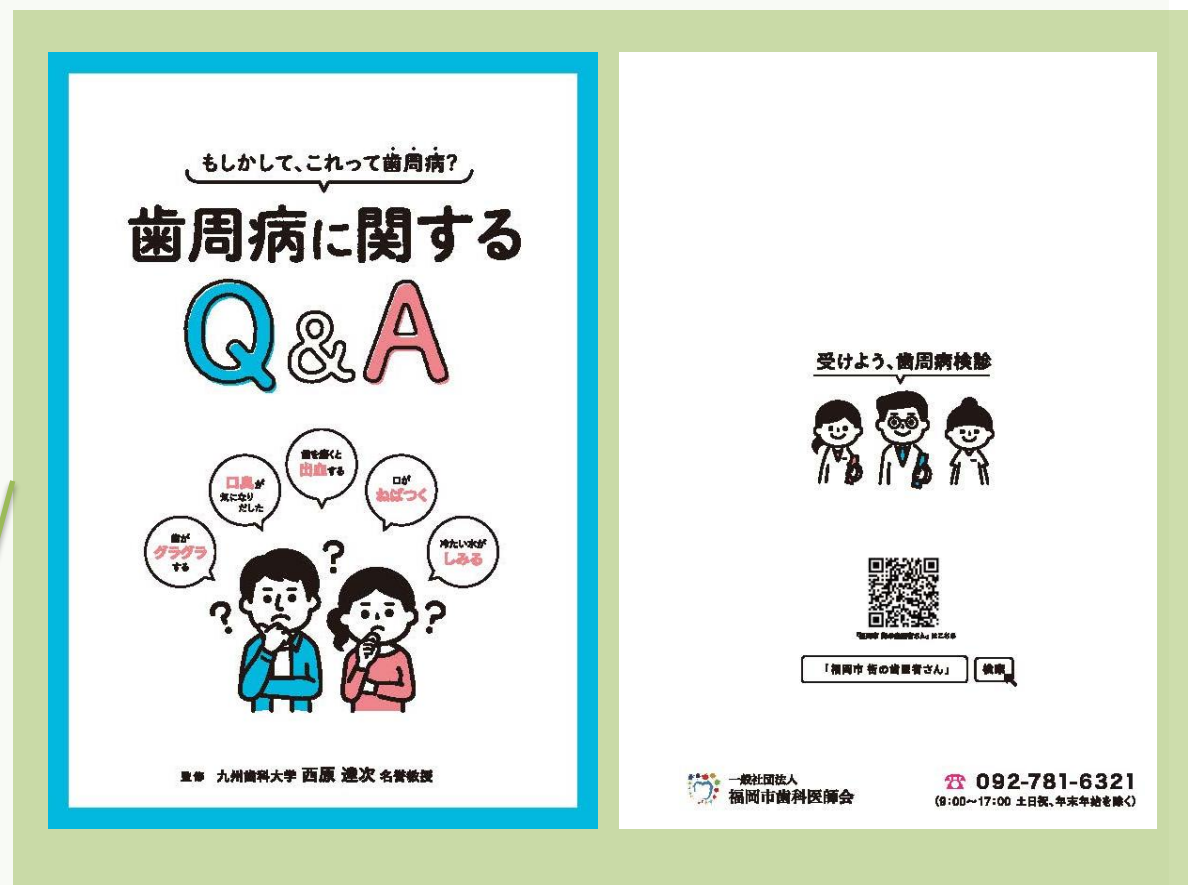
※報告は事務局へ、歯科医師会へお送りください。

導入資材

参加薬局に提供される資材一覧

	項目	送付量
1	薬局対応マニュアル	1部
2	ポスター（A4サイズ）	3枚
3	個別管理表	1部
4	検査実施チェックリスト	1部
5	検査案内チラシ	10部
6	歯周病リスク検査キット （事前アンケート同封）	10部
7	※事後アンケート	10部
8	歯科検索リストのQRコード付き 歯周病に関するQ&A	10部
9	※歯周病のお話	10部
10	※情報提供書	1枚

※は福岡市薬剤師会ホームページよりダウンロード可能

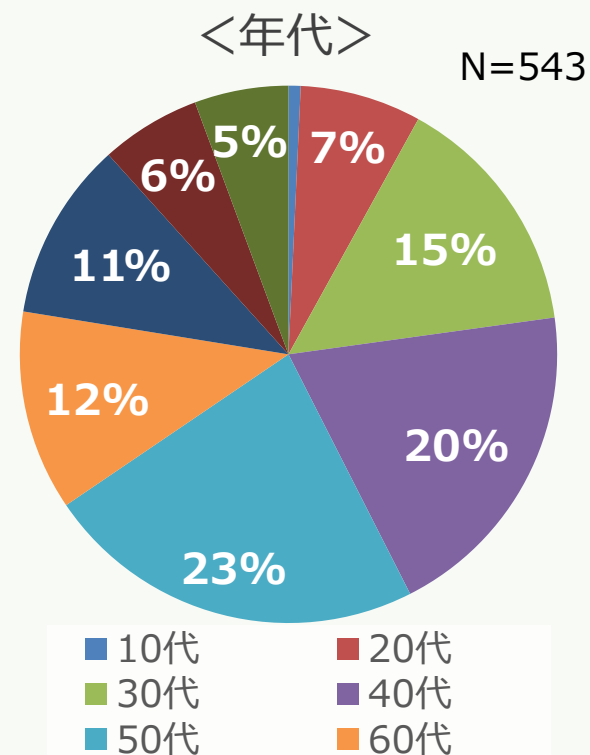
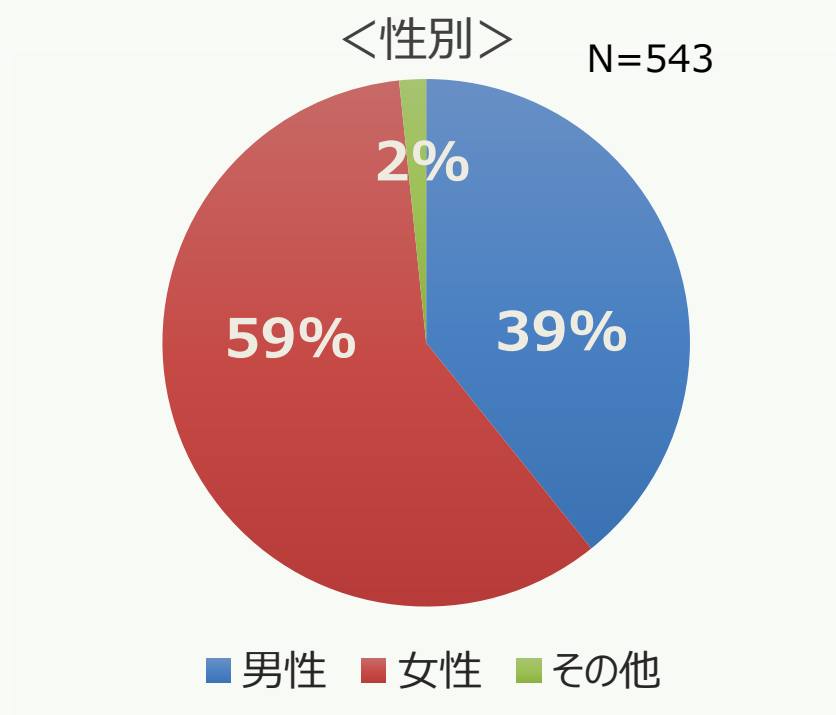


モデル事業実施結果

参加者属性（性別・年代）

男女比では女性が6割。年代別では高齢者に偏る懸念があったが30代以降ほぼ均等に参加

※各来局者の基礎疾患との関連性は今後、アンケート集計後分析予定



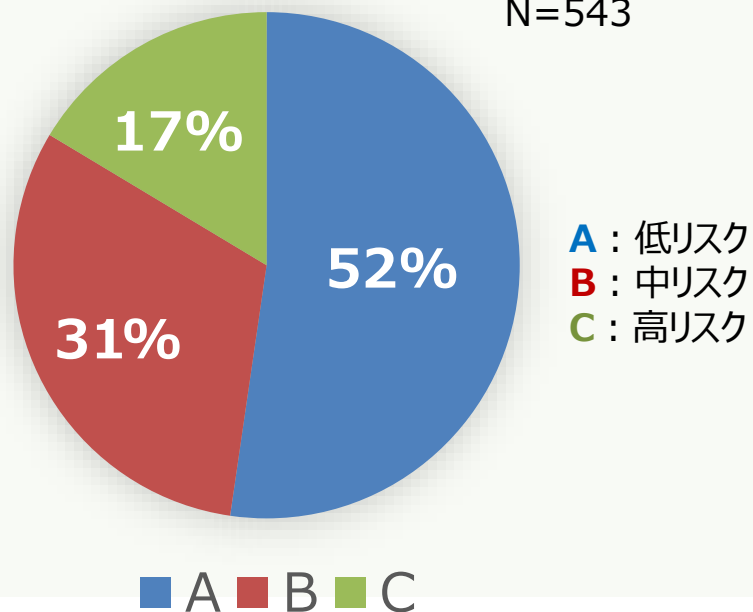
モデル事業実施結果

簡易スクリーニング検査結果

リスク別には、高:17%、中:31%、低:52%。高,中の割合がイベント型（参考）の23%に比べて48%と大きかった。検査結果が飲食による影響を受けやすいため、検体採取方法を「朝起きてすぐ」に徹底できたことが要因と考えられる

R7年度モデル事業 福岡市薬剤師会

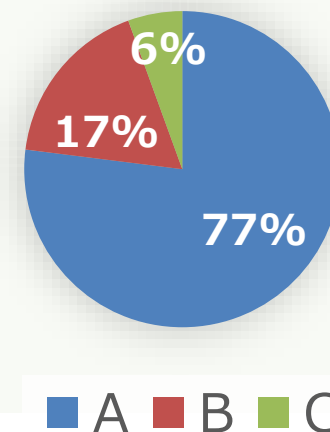
N=543



参考：2025年11月「デンタルフェア」

inららぽーと福岡

N=126



モデル事業実施結果

歯科スクリーニング検査実施 1 か月後アンケートでは歯科受診済み34.5%、今後受診する予定を含めると81.1%と高い値になった。要因は、検査キットと併せて「歯周病に関するQ & A」「歯周病のお話」を用いた啓発活動および患者フォローアップ時に歯科受診勧奨を加えたことが考えられる。

受診勧奨結果

N=249

	実施後受診			歯磨き回数				お口のケア		
	受診済み	受診予定	予定なし	3回以上	2回	1回	0回	毎日	時々	なし
高リスク (45人)	35.6%	60.0%	4.4%	28.9%	62.2%	8.9%	0.0%	35.6%	37.8%	26.7%
中リスク (75人)	34.7%	48.0%	17.3%	29.3%	54.7%	16.0%	0.0%	42.7%	37.3%	20.0%
低リスク (129人)	34.1%	41.1%	24.8%	44.2%	38.8%	16.3%	0.8%	30.2%	49.6%	20.2%
合計	34.5%	46.6%	18.9%	36.9%	47.8%	14.9%	0.4%	34.9%	43.8%	21.3%

※過去1年以上歯科受診されていない方（無関心層）は71.6%が受診済み・受診予定
うち、高リスクの方の95.4%が受診済み・受診予定

薬局で実施することによる有用性

1. 基礎疾患患者へのアプローチにおける有用性

薬局には糖尿病をはじめとする基礎疾患患者が定期的に来局するため、歯周病罹患リスクの高い層（ハイリスク者）に対し、日常的な接点を通じて効率的かつ継続的にアプローチすることが可能である。

2. 受診勧奨施設としての薬局の機能

歯科受診から遠ざかっている「歯科無関心層」に対し、薬剤師が専門的知見から介入することで、薬局が行動変容を促す効果的な「受診勧奨拠点」として機能することが実証された。

3. 医科歯科連携（医歯薬連携）のハブとしての役割

処方箋を持参する患者に対し、薬局が適切な歯科受診を促すことは、医科と歯科を物理的・心理的につなぐ「地域連携のハブ」として重要な役割を担うことが可能である。

4. 検査の質と信頼性を担保する製品選別・管理能力

質の高い検査を担保する上で重要な「製品選別」・「厳格な品質管理」・「正しい検査方法」の要素を薬局は網羅している。

福岡歯薬連携モデルを全国のスタンダードへ

1. 薬局の役割の進化：ハブから「コーディネーター」へ

薬局は、単に医科と歯科を繋ぐ「ハブ（結節点）」に留まらず、多職種連携を主体的に調整し、住民の健康を包括的にサポートする「地域保健のコーディネーター」を目指します。

2. 福岡モデルの全国展開と「標準化」の推進

本事業で蓄積された運用ノウハウと、福岡市薬剤師会の強固なネットワークを最大限に活用し、このモデルを全国へ普及・標準化させることを目指します。

3. 地域住民の健康寿命延伸への貢献

薬局が歯科受診のナビゲーターとして機能する新たな仕組みを社会実装することで、口腔保健から全身の健康を守り、地域の健康増進に貢献する薬局の姿を確立してまいります。